



NO. 178

響音 (ひびき)

発行 チャイルドライン ハートコール・えひめ
〒790-0808 松山市若草町8-2
松山市ボランティアセンター気付
Tel 089-923-9558 Fax 089-916-9710
E-mail heart-call@kke.biglobe.ne.jp
<https://heart-call-ehime.jimdofree.com/>
発行責任者 染川まどか
発行者 染川まどか
編集者 三好久恵

2023年度総会報告

2023年5月7日(日)松山市総合福祉センターにて、10時より総会を開催しました。正会員46名の内、出席者15名・委任状19名で、定足数23名を満了し総会は成立しました。引き続きよろしくお願いたします。

第1号議案 2022年度事業報告
第2号議案 2022年度収支決算書
第3号議案 2023年度事業計画案
第4号議案 2023年度収支予算案

第5号議案 2023年度正会員会費の減額案
第6号議案 2023年度役員改選案
全て承認されました。

◇2023年度事業計画

- ・傾聴による子ども電話開設
- ・カード配布 キャンペーンカード、常設カード年2回配布県内小・中・高校配布
- ・社会啓発活動
- ・機関誌「響」年4回発行
- ・全国、中四国のチャイルドラインと交流、ネットワーク活動
- ・他機関との交流、訪問
- ・第23期受け手養成講座開催
- ・継続研修開催
- ・支え手研修開催
- ・運営委員定例会開催
- ・祝休日電話相談事業
- ・「イオンの黄色いレシートキャンペーン」参加
- ・福祉センターまつり参加

2023年度総会を無事迎え、終えることが出来ました。この総会でスタッフの方が、「ボランティアを経験し、かかわる皆さんの熱意と努力に感動しました。受け手の方、寄付された方、色々な作業をされた方、児童相談所に参加された方、皆さんの強い思いで成り立っていることが素晴らしいと思いました。」と語られ、少しずつでもまた前を見て進んでいこうと感じました。

ご支援ありがとうございます

2022年度ご寄付くださった方々

国際ソロプチミスト松山様、高下道子様、川口梅子様、重松章子様、大江昌美様、松尾達子様、中野 裕子様

他に匿名の方より多額のご寄付をいただきました。

皆様心を寄せていただき大変ありがとうございました。身が引き締まる思いです。大切にに使わせていただきます。

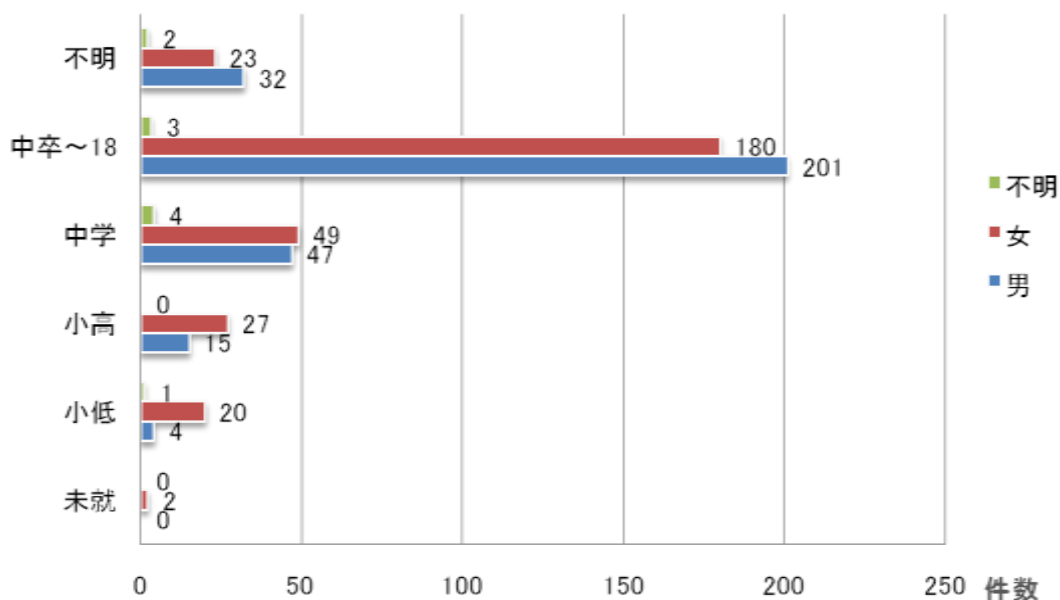
チャイルドライン & 子ども電話「ひびき」 1年間の統計 (2022.4.1～2023.3.31)

電話概要

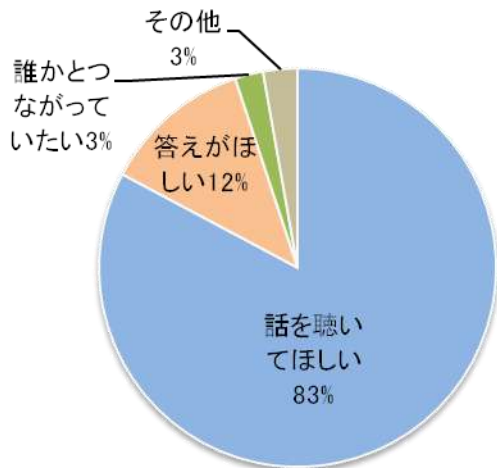
【総着信数】 3,314件
 【会話成立数】 666件
 【開設日数】 72日
 【21年間の総合計】 53,319件(2002年3月～)



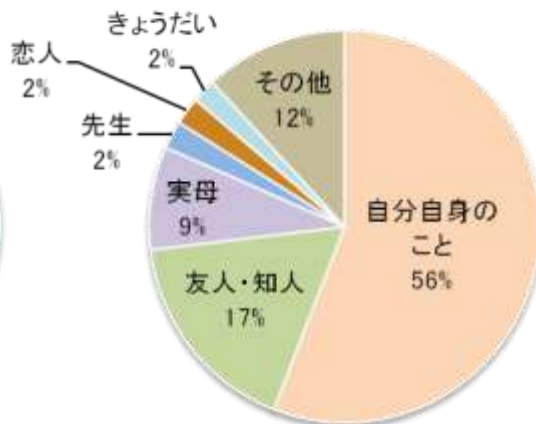
【男女年齢別会話成立数】



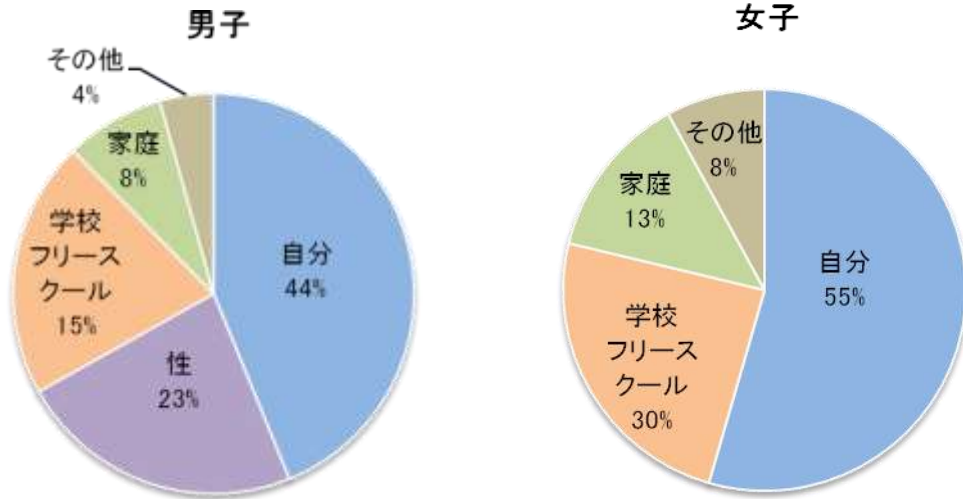
【電話をかけてきた動機】



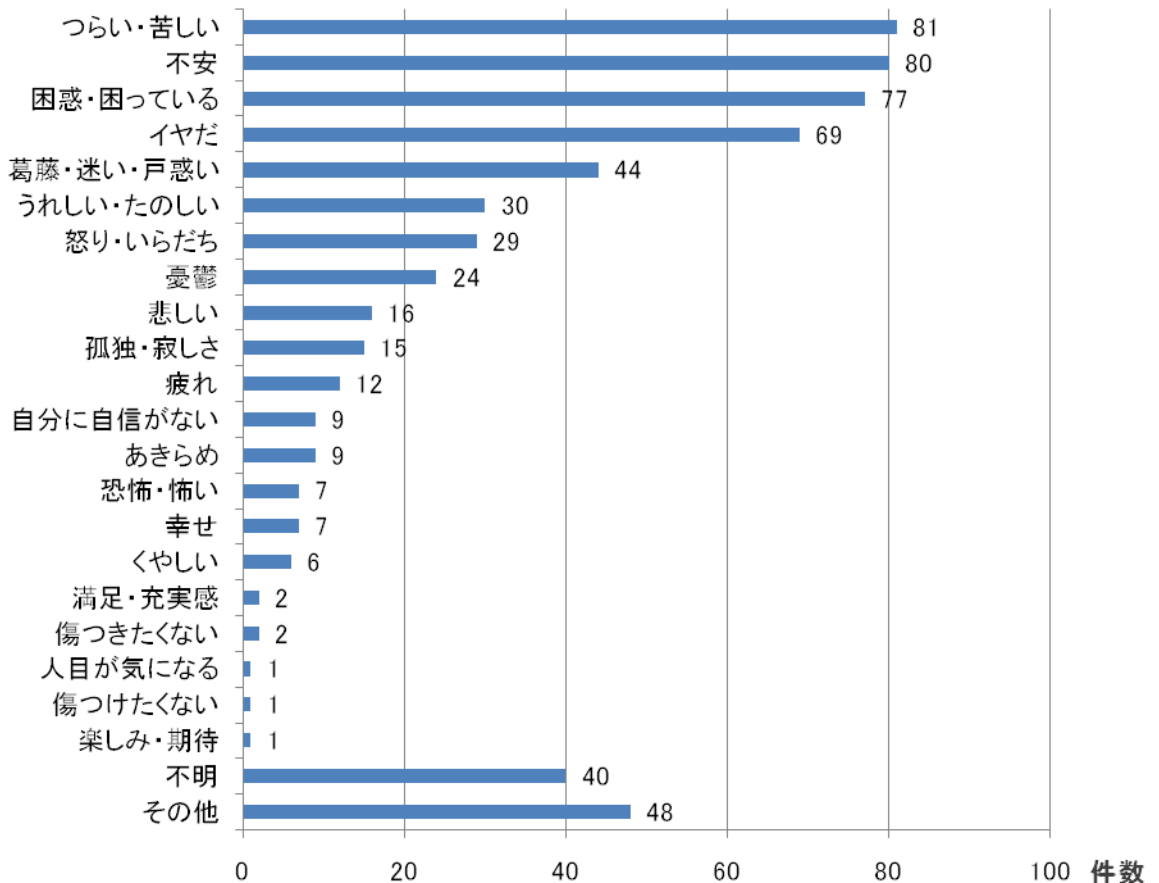
【誰との関係で】



【電話内容】



【かけてきた子どもの気持ち】



3月受け手のための継続研修

3月25日(土) 10:00~12:00 松山市総合福祉センター交流室

講師：村上由美子氏 司会進行：継続研修担当スタッフ 参加者：10名

テーマ：「アサーションについて学ぶ」

前回に引き続き今回も村上由美子氏に研修していただきました。テーマはアサーション (I am OK→You are OK I am OK が先) アサーションは知っているだけではダメで、トレーニングしなければ身につかないそうです。

自分の思いを相手を傷つけないように伝えたいが、どんなに配慮しても相手が傷つくことはあるし、人を傷つけてしまうかもしれないという覚悟が必要。私が傷つけたいと思っていることではなく、傷つけたらしょうがない、人を傷つけないようにと思っていたら自分が傷ついてしまうかもしれないから、そういうこともあるかもしれないと覚悟することがアサーション。

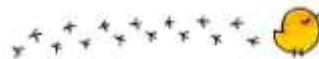
人のことばかり考えていると、自分の本当の心と頭が置き去りになる。判断するのはこの場にふさわしいかどうか、拒否されるかもしれないけど、私の意見を出す、自分の欲望を出してみる練習がアサーション。



私には間違いや失敗をする権利があります。私にはこれらの権利を使うかどうかを選ぶ権利があります。でも、人を操作する権利はない。自分がどうしたか、どうありたいか、それを自分で決めていいということです。そのためには覚悟が必要です。

チャイルドラインでかけてくる子どもの声を私が聴きたいと思っているのはアサーティブ、聴いてあげなければいけないはアサーティブではない。

参加された方の感想に、アサーションを学ぶことは、とらわれない自由な心を得ること、自分自身の感情に気づくことも必要。自分のありのままを受け止められる、そんな自分のための学びだと知りました。とありましたが、本当にその通りです。決してアサーティブではなかった私ですが、学ぶことで少し気が楽になる感じがしました。無理してアサーティブになる必要はないということも、自分を大事に、自分を知ることは自己尊重ということも含めて、気持ちが軽くなりました。



編 集 後 記

2023年度がスタートしました。皆様のご理解ご支援があったから、そしてスタッフの方々の思いとボランティア力があったから、継続してることができた22年間です。

運営委員も少しずつ増え、いろんな意見が出て、これからも子どもの声を中心に、大切にしていって活動を続けていきます。アサーションも学び、自分の声も聴き、自分も大事にしていきたいと思いはじめました。(染)

